

【放デイ】事業者向け		事業所名		放課後等デイサービスあおい常滑			
		アンケート実施期間		令和6年10月15日から令和6年11月15日			
		配布数		11枚(回収率100%)			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	工夫している点	課題、改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
		環境・体制整備	1	6	4		
	2	7	3	1	既定の人数を配置している。5人が適している。個別に配慮が必要な子が複数いる場合、不足と感じる。個別対応が必要な児童がいるときに不足を感じる。	足りている日、足りない日は、利用者さんの人数だけではない時があるので、その辺りも加味する必要があると思う。利用者のサポートに対応できる配置+αである。	
	3	5	5	0	1	和室への段差を気をつければ問題ない。和室へは段差があるが、鍵があり別空間として利用されていて良いと感じた。バリアフリーになっているところもあれば、キッチン、和室はなっていない。利用者が主に使用する場所はバリアフリー。	和室の入口の段差が大きいため、対処ができると良い。大ホールから和室の段差が気になるため、改善策を検討したい。
業務改善	4	8	2	0	1	打ち合わせの時間を設け、振り返りと改善、共有に努めている。短い時間であるため任せている。実施記録を書いている。職員が出動した日にやっている。振り返りの結果が書面であるのかわからない。	正職員とパートが共有できる時間が取れないので、月1日早く出勤して全員集まれる時があってもいいかと思う。
	5	9	2	0		アンケート結果を共有し、改善に努めている。無記名のアンケートに個別の要望を書いてくれている。アセスメントを取る時にこういう意見が聞けると良い。アンケート調査について把握できていない。保護者に連絡を取り、改善につなげている。全体会議で発表後、チームで共有している。	
	6	3	4	4		ホームページに掲載している。わからない。チェックしている。評価はやはり気になる。	
	7	2	6	3		現在外部評価は実施していない。	
	8	11	0	0		必要に応じた研修を受けている。前向きに受けたいと言ってくれる人が多い。動画を見る時間はないが、資料をもらい内容の確認をしている。研修を受けている。職員に必要な研修の勧めがある。	
適切な支援の提供	9	11	0	0		アセスメントツールの活用と保護者への聞き取りを併用し、計画作成を反映させている。子供に関わる職員全員の意見を書面にて提出し、会議をしている。	保護者のアセスメントが重要と感じる。(不明な事は聞き取りも必要)
	10	10	1	0		作成ソフト規定のアセスメントツール利用している。	
	11	11	0	0		活動会議を行っている。話し合っで決めている。	
	12	11	0	0		同じ活動が続かないように工夫している。工作でも違う作品を作る等変化がある。子供の声を常に意識している。そうすれば固定化することを防げる。季節ごと、行事に合った活動をしている。2事業所3チームで情報共有し、良いプログラムは積極的に取り入れている。	
	13	10	1	0		休日等は時間に応じた2つの活動を組み合わせている。個々の学習レベルを理解する事が難しい。企画書を活用し、細かい計画を立てる必要がある時は対応、打ち合わせ時に必要な時は補足している。	
	14	11	0	0		個々に合った活動への取り組み方を考えている。個々の対応も含め考えている。変化も加えながら計画が作成されていると感じる。ひとりひとりの課題に合わせて活動内容を変えて実施している。	
	15	9	2	0		打ち合わせで意見交換している。当日に確認ができるよう日程表の記入が行われている。業務日誌にスケジュールを記載し、それに応じて打ち合わせをしている。全体での打ち合わせ後、チームでも分担、利用者を確認している。	平日は打ち合わせがあり何をするか確認できていたが、休日や夏休み等は確認の時間の確保が難しい場合もあるため、改善策を検討したい。
	16	5	6	0		特に気になる場面があった場合は共有している他、パート職員も含めて実施している。送迎後、改善点があれば伝達、相談するようにしている。勤務時間内では不可能のため後日確認したり、その場での確認、共有を心掛けている。支援終了後、振り返りをし共有している。	送迎に行っている正職員との共有は、その日のうちには難しいため、改善策を検討する必要がある。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	0	0	毎日実施記録を残している。実施記録に、スタッフに伝えられなかった各々の様子を書いている。実施記録で支援内容に関する事は記入するようにしている。子供たちのリラックスタイム中に記録をする。記録、ヒヤリハット記録を書いている。朝礼や支援開始前の打ち合わせで共有している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11	0	0	半年に一度モニタリング、計画の更新を行っている。週2日の勤務とより合わない子供が増えたため、モニタリングが難しい子供が増えている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	10	1	0	なるべく全員が一度は参加できるように活動予定表を作成している。	
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	1	0	対象児に支援で関わっている者が参画するようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	1	0	希望表と照らし合わせながら、必要に応じて学校に確認し下校時刻を把握している。下校時刻の間違いが時々あるが、臨機応変に対応できていると思う。基本、保護者との情報を基に行っているが、場合によってはホームページを活用して確認することもある。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	5	1	受け入れなし。必要な子はいないと把握している。(服薬以外)
関係機関 や保護者 との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	6	2	新規児童の入所の際は、他事業所だけでなく保育所、学校等とも連携をとっている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	7	0	するべきと考えている。相談員の方にお伝えしている。	来年対象となる児童がいるので、情報をまとめていく必要があると考えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	4	0	保護者からの相談、支援の難しい児童について、相談しながら間に立ってもらっている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	8	一緒に活動する機会がない。交流の機会があまりない。	可能なら児童館へ遊びに行くという活動も考えたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	9	0	子ども部会には参加している。(知つと会議)	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	1	0	成長とともに喜べる事は大切にしている。ダメな事だけ伝えず、その中でも感じた成長の部分を伝える。共有している。送迎時や当日連絡帳等で状況を伝えるよう心掛けている。	メールや送迎時に直接されている事が多いと思われるので、必要な事項はパートにも教えてほしい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	7	1	今年度はまだ未実施。面談で一緒に方法を考えたり、あおいで行っている方法を伝えることはある。保護者と話す機会がある。	難しい事かと思われませんが、面談等で充実させたい。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	2	0	契約時、面談時、直接質問等、説明を行う機会を利用し説明をするようにしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	1	0	アドバイスという形では行わないように意識している。認めてあげること、助言は「一緒にやってみよう」と付け足す。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	8	3	保護者も一緒に参加できる行事等も実施予定。夏祭りでは保護者がみえる機会はあるが、全員が集まるわけではないので難しいかと思う。イベント参加等行っているが、保護者同士が連携をとっている事はほとんどない。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2	0	苦情対応の研修を実施し、受付に対する知識、技能を身に付けている。電話対応した際は内容をしっかり伝えている。研修を受講する。迅速には常に意識している。送迎変更し、帰りに直接伝えられることが一番良い。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	3	0	通信は発行していないが、連絡帳を用いて児童個人の様子を伝えている。お知らせの手紙等目にしていないのでわからない。ゴドモンの連絡帳は評判が良い。	ホームページの更新は多く発信する必要がある。
	35	個人情報に十分注意しているか	11	0	0	写真等は確認して載せている。書類は、個人情報のあるものは全てシュレッダーしている。守秘義務厳守している。漏れないようにしている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	3	0	他のスタッフに相談しながら一番力を入れて対応している。面談時に個人情報の配慮に欠ける場面があったため、慎重に言葉を選んで話すようにしている。何をしたい、してほしい事を状況に合わせて職員が声を出しアナウンスして対応していく。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	4	事業所の夏祭り等、保護者を招待することはある。放課後等デイサービスが何なのかわからない方が多いと思う。祭りの時は、地域の方との交流ができるので参加している。地域との交流はあまりなされない。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	2	0	報告、訓練、掲示をしている。広報している。緊急対応マニュアルを保護者に配布している。ゴドモンを介して保護者に緊急時の対応を周知している。	マニュアルの見直しを行い、再度配布する必要があると考えている。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	0	毎月避難訓練を行っている。避難経路の確認と実施。訓練している。月に1回行っている。またその様子を保護者にも配信している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	1	0	パートも含む全職員が受講し、グループワークも実施している。研修、グループワークを全員行っている。すべての職員が研修を受け、ケース会議に参加し意見を言う機会がある。	分かりづらいところはその都度職員に聞く、書類にも必ず目を通す等、自分でも気をつけていきたい。今後も定期的に研修があるとよい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	3	0	要件に関する同意書及び事業所での対応を記載した個別支援計画を作成し、同意を得ている。見直しを行い、正しく対応できるよう全員に周知してもらおうとしている。計画、記載確認していない。話し合い、記録している。切迫しているか、代わりの方法はないか、一時的か、よく考え、話し合いに話し合いを重ね決定している。	実施記録をしっかりと記入したいと改めて思う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	5	2	現在はいない。現時点ではアレルギーの子供はいないと把握している。対象者なし。今は指示がない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	3	0	記入がされない時期があり、見直し、毎日記入するよう改善している。ファイルの存在を知っているのみ。ヒヤリハットの記録に書いている。翌朝の朝礼ですぐに共有され、再発防止に努めている。	